

工事成績採点の考查項目の考查項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の・に○マークを記入する。 (検査員)

考 査 項 目	細 別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	下水道工事 〔管渠補修工事(自立管)〕	☆ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ （関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験） ※ ばらつきの判断基準は別紙－4参照					品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
Ⅱ. 品質		☆ 品質が、試験項目、試験基準及び規格値を満足する。					品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず、品質が劣る。
		【評価対象項目】 〔自立管〕 【共通】 <ul style="list-style-type: none">・ 事前に管渠内を調査し、管渠内に突起物や欠損、浸入水がある場合は、必要に応じて補修している。・ 再生管と既設マンホールとの取り合い箇所仕上げ部においては、浸入水、仕上げ材の剥離及びひび割れ等の異常のないことが確認できる。・ 更生材の物質、物性、寸法津男について材料検査成績表により確認できる。・ 再生管の変形・しわ等による縦断勾配の不陸等の欠陥や異常箇所が無いことが確認できる。・ 更生材の保管および搬入が適正な環境状況のもとで行われていることが確認できる。・ 施工現場に管更生の専門技術者が常駐していることが確認できる。 【蒸気加熱タイプの工法】 <ul style="list-style-type: none">・ 上下流管口もしくはテストピース採取位置での温度管理を適正に行っていることが確認できる。・ 蒸気導入側、排出側の圧力管理を適正に行っていることが確認できる。・ 温度管理と圧力管理の時間管理を適正に行っていることが確認できる。・ 有毒ガス・可燃ガス・CO濃度の管理を適正に行っていることが確認できる。 【温水加熱タイプの工法】 <ul style="list-style-type: none">・ 上下流管口もしくはテストピース採取位置での温度管理を適正に行っていることが確認できる。・ ボイラー部での圧力管理を適正に行っていることが確認できる。・ 温度管理と圧力管理の時間管理を適正に行っていることが確認できる。・ 有毒ガス・可燃ガス・CO濃度の管理を適正に行っていることが確認できる。 【光硬化タイプの工法】 <ul style="list-style-type: none">・ UVトレンでの温度管理を適正に行っていることが確認できる。・ 圧力管理を適正に行っていることが確認できる。・ 送気温度および送気量が適正であることが確認できる。・ 有毒ガス・可燃ガス・CO濃度の管理を適正に行っていることが確認できる。					品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補（手直し）指示を行った。
		①「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ②評価対象外項目の削除後は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値（評価値）で評価する。 ③評価値（ %）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④なお、削除後の評価対象項目数が3項目以下の場合はc評価とする。					上記該当あれば……d	上記該当あれば……e
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。						